

各区グループ討議結果

【中央区会場】 6月13日 (土)

- 討議テーマ あなたの地区は ①防災体制は出来ているか
②問題点は
③どうすればいいか

(各グループの主な意見)

- ・防災組織はできているが実際の訓練がなかなかできていない。
- ・市外で働いている人が多く、体制作りが難しい。
- ・意識を住民にどのように持ってもらうか、共有化が必要。
- ・子ども会・中高生・大学生など、若い力を取り入れる。
- ・住民名簿の作成、災害弱者の把握や、避難経路、消火器設置場所を掲載した防災マップを作ってはどうか。

【南区会場】 6月14日 (日)

- 討議テーマ ①自治会加入促進について
②地域の課題について

(各グループの主な意見)

- ・賃貸マンションやアパートについては自治会費を減免したり、管理会社から居住者に話していただくことで加入に結びつけたところもあった。
- ・子育て世代が参加しやすい事業を活発にするとよい。
- ・地域で安心して暮らせるよう、子どもの見守り活動強化が必要。
- ・高齢者でも参加しやすい(負担の少ない)自治会づくりを考えたい。

【緑区会場】 6月20日 (土)

- 討議テーマ ①防犯・防災について
②自治会加入促進について

(各グループの主な意見)

- ・自主防災隊には、実践的な訓練が必要。
- ・自治会活動の参加について、まずは高齢化の中でのやり方を考える(役員免除、会費の見直しなど)。
- ・自治会に加入して、イベントに参加することで、子どもたちに思い出をたくさん作ってもらいたい。



中央区会場 (けやき会館)



南区会場 (南区合同庁舎)



緑区午前会場 (津久井総合事務所)

新任自治会長研修会

今年度新たに就任された自治会長を対象に、地域人材を育成するため、研修会を6月に開催しました。本研修会は、市自治会連合会として7回の実施となり、3日間で4会場、午前・午後の計6回、合計198名の皆様にご参加いただきました。

研修会では、市自治会連合会と相模原市が共同作成した「自治会活動の手引き(運営編)・(加入促進編)」の説明を行い、市自治会連合会役員・理事、各地区地域活力推進員も含め、各区域ごとに設定されたテーマについて「グループ討議」を行いました。

グループ討議では、地域防災や自治会加入促進、自治会員の高齢化など自治会が抱える課題等、様々な視点から活発な意見が交わされました。

また今回は、中央区の会場では防災に特化した内容として、防災マイスターの堀口眞氏をお招きし、防災に関する自治会の先進的な取組事例について学びました。

今後、地域のリーダーとして活躍される皆様の支援のため、こうした研修を開催して参ります。

平成27年度 相模原市自治会連合会 定期総会が開催されました

6月6日(土)午後1時30分から、けやき会館で、各地区から選出された委員の出席のもと、定期総会が開催されました。(出席85名、委任状提出23名) 来賓としてご出席いただいた加山市長、阿部市議会議長及び戸塚市社会福祉協議会会長からの祝辞のあと、門倉委員(光が丘地区)及び嘉松委員(東林地区)が議長に選出され、各委員の熱心な討議の結果、次の議案すべてが承認されました。

議案

- ①平成26年度事業結果報告
- ②平成26年度収支決算報告
- ③会計監査報告
- ④相模原市自治会連合会規約の一部改正
- ⑤平成27年度事業計画
- ⑥平成27年度収支予算



私達が、平成27年度相模原市自治会連合会役員・理事です。よろしく願います。



理事 八木 次夫
大沢地区自治会連合会会長



会長 田所 昌訓
小山地区自治会連合会会長



理事 石井今朝太
上溝地区自治会連合会会長



理事 長谷川光義
長谷川地区自治会連合会会長



副会長 平林 清
清新地区自治会連合会会長



理事 田代 明寛
麻溝地区自治会連合会会長



理事 石井 正彦
新磯地区自治会連合会会長



副会長 坂本 堯則
横山地区自治会連合会会長



理事 小林 茂裕
新磯地区自治会連合会会長



理事 穂刈 健二
相模原市自治会連合会会長



副会長 草野 寛
中央地区自治会連合会会長



理事 代田 昭
相模原市自治会連合会会長



理事 佐藤あつ子
相模原市自治会連合会会長



会計 澤塚 正史
大野北地区自治会連合会会長



理事 河本 博
城山地区自治会連合会会長



理事 山下 利磨
相模原市自治会連合会会長



監事 金子 匡甫
大野中地区自治会連合会会長



理事 森 逸雄
津久井地区自治会連合会会長



理事 落合 勝司
相模原市自治会連合会会長



監事 竹田 幹夫
大野南地区自治会連合会会長



理事 大木 恵
藤野地区自治会連合会会長



理事 森川 哲郎
相模原市自治会連合会会長

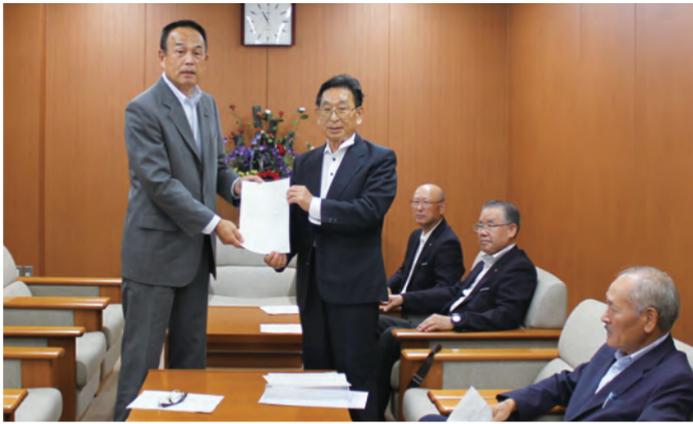


(左から) 小池副市長 草野副会長 金子監事 坂本副会長 田所会長 加山市長 平林副会長 澤塚会計 竹田監事

政策要望書を提出しました!

地域には、防犯、防災、交通安全、環境美化等、様々な課題がありますが、これらの課題は住民相互の理解と信頼のうえに立った連携と協力により、解決することが可能であると考えることができます。解決する過程の中では、相模原市の支援と協働による取組が重要であることから、平成27年9月10日(木)政策要望書の提出を行いました。当日は、加山市長をはじめ、小池副市長などと活発な意見交換を行いました。今後も、時期を捉えこのような必要活動を続けてまいりたいと考えております。

- 1 安全・安心のまちづくり
 - (1) 自転車事故対策について
 - (2) 鳥獣被害対策について
- 2 自治会活動の拠点づくり
 - (1) 自治会集会所の補助制度について
 - (2) 国・県施設の有効活用について
- 3 地域活動・市民生活環境の改善
 - (1) 地域活動に係る環境改善について
 - (2) 市民農園制度の見直し・拡充について



平成27年度 第1回相模原市自治会加入推進協議会を開催しました

10月8日(木)、地域活動の中心的な役割を担っている自治会への加入策に関する協議会が開催されました。各構成団体よりスマートフォン活用の有効性や自治会員専用の厚生施設利用割引の重要性など、様々な意見が出されました。また、リーフレットによる自治会加入促進啓発も引き続き実施していくことが確認されました。



協議会の様子

相模原市自治会加入推進協議会構成団体

- 相模原市自治会連合会
- 神奈川県宅地建物取引業協会 相模北支部
- 神奈川県宅地建物取引業協会 相模南支部
- 全日本不動産協会 相模原支部
- 相模原青年会議所
- 相模原市立小中学校PTA連絡協議会
- 相模原・町田大学地域コンソーシアム
- 相模原市



人物紹介



青木守市さん(中央地区)

今回は、「中央地区社会福祉協議会理事」、中央地区にお住まいの「青木守市(あおきしゅし)」さんにお話を伺いました。

ずっと相模原市にお住まいですか?

生まれは新潟県小千谷市です。学生時代は宇都宮市、東京に移り、その後、相模原に移ってきました。中央地区に越して来て15年になります。

地域活動に関わるきっかけは?

若い頃は海外赴任が多く、あまり地域に関わっていませんでした。39歳の時、自治会の班長を任されました。勤務が忙しかったのですが、地域の役に立てればと、子ども会や青少年育成連合の活動にも積極的に参加し始めました。お祭りの仮装パレードのために手作りの被り物は好評で、地域の方たちが喜んでくれるので、自分も製作しました。

地区社会福祉協議会の理事として中央地区の福祉コミュニティの形成には、どのように取り組んで来られたのですか?

平成21年ごろから、地域福祉推進会議で地域課題の洗い出しや、調査を始めました。他の地域の事例などを見ながら、地域の高齢者などを取り組むことは、高齢者や食生活など、既に実施している対象を想定しようとは、異なる対象を想定しようとは、意見がまとまり、試行錯誤の結果、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の展開を考えてみました。

具体的な活動内容は?

より住みよくなる街づくりに向けて、「二世帯」を

キャッチフレーズに、毎月、各地域ごとに事業を展開しています。具体的には、例えば「万華鏡づくり、流し」などです。多い時は200人くらい集まることもあります。三世帯盆踊りにも取り組みました。最初、地域の皆さんの協力を得て、振り付けを覚えてもらうまでは大変でしたが、今では参加者どうし教え合っていました。

活動を継続していくうえで、重要なことは何ですか?

まずは、携わる人自身が楽しむことです。生き生きと活動している人は、目の輝きが違います。自分も「自分も始めたい」と感じて、輪が広がります。また、地域の方が喜んでくださると、また新しいことを考えようという活力になります。ボランティアなので、関われることには限界があるかもしれませんが、地域に返してあげたいと思います。私の場合は、手作りをモットーとして、自分で考案した「ニューゲームドボン」というゲーム(仮称)がなかなか好評なんです(笑)。

今後の抱負は?

地区社協の活動も7年目になり、マンネリ化しているのではないか、事業内容が多岐にわたるという不安があります。活動の内容で評価されるわけですから、「これだけでいい」ということに気づいて、毎日新しいことに挑戦して、取り入れていければと考えています。



青木さんが考案したゲーム「ドボン」

地域高齢者との交流活動

津久井地区大堀自治会
会長 小島 忠男

近年、津久井地区においても高齢化が進んできています。大堀自治会老人クラブ「さつき会」では、ふれあいサロンや敬老のつどい、そして独自企画行事に積極的に取り組み、普段一人では外出が少なくなりがちな高齢者に交流の機会を少しでも広げて頂ける



福祉バスで外出

よう、声掛けなどの働きかけを行っています。

主な活動としては、自治会館でお茶をしながらお喋り・手芸・カラオケなどを楽しみ、季節によりラジオ体操や花のお世話をしています。ときには福祉バス健康号で外出して自然の空気にふれ、買い物や温泉にたっぷり楽しい時間を過ごしています。

また、自治会連絡協議会・社会福祉協議会・民生委員さんと合同で行っている「敬老のつどい」には、毎回150〜200名の参加があり、多

くの方がこの日を楽しみにしています。催しが終わる際にも「この年になってここまで連れてきてもらい楽しい思い出をさせていただきありがとうございます」と来てよかったね「来年もあるといいね」という声が聞かれ、スツップも「やって良かった」と胸に熱いものを感じました。

今後このような活動が皆さんの協力のもと、未永く継続できるよう活動していきたいと思っています。



楽しいリース作り

地域における身近な環境対策

清新地区自治会連合会
会長 田代 明寛

地球温暖化対策の取組みは、各自が環境について考え、行動するなど、身近なところから始めることが重要です。

清新地区では地域のボランティア団体、夏の省エネ対策として、清新公民館事務室



ボランティアの仲間たち

に直射日光が入り込むことによる室温の上昇を防ぐため、簾を立てかけるより、見た目にも涼しさを感じるゴーヤを育て、日陰づくりをしよう

と取り組まれました。この活動は、清新5丁目自治会長の丸岡氏とボランティアの島田氏を中心に、平成24年から始め、現在22名の有志が携わり、地域の絆づくりの一環として活動しています。今では清新公民館の夏の風物詩となった当活動は「相模



青々と育った緑のカーテン

原市まち・みどり公社」が主催する「グリーンカーテン自慢コンテスト」において平成25年に「団体・公共施設の部 特別賞」を、平成26年には「団体の部 最優秀賞」を受賞しました。

このような地域住民が主体となった楽しみながらの活動は、地球温暖化防止に、そして訪れる人に環境意識を醸成しており、今後まちづくりなどの地域活動に繋がっていきたいと思っています。

環境美化活動を通じた自治会加入促進

麻溝地区自治会連合会
会長 石井 正彦

麻溝地区では、平成25年度から、地域住民の生活に繋がりの多いごみ集積所に着目し、自治会の環境美化活動を通じた自治会加入促進を行っています。自治会が、日頃からごみ集積所の美観の保持と管理を行っていることを地域住民に広く紹介することで、住みやすいまちづくりを進めるために、自治会が役立っていることについて理解を深めてもらうものです。

具体的な取り組みとしては、地域活性化事業交付金を活用し、ごみ集積所の美観を保持するために、希望する自治会に折りたたみ式のごみ収納箱を設置していただく、ごみ集積所の管理

麻溝地区では、平成25年度から、地域住民の生活に繋がりの多いごみ集積所に着目し、自治会の環境美化活動を通じた自治会加入促進を行っています。自治会が、日頃からごみ集積所の美観の保持と管理を行っていることを地域住民に広く紹介することで、住みやすいまちづくりを進めるために、自治会が役立っていることについて理解を深めてもらうものです。



折りたたみ式ごみ収納箱とお願い看板

むかし昔 No.53

東京・横浜のベッドタウンとして急速に発展

東林地区

自治会連合会
前副会長 福島 康人

「入煙まればた相模の国の一角」東林は相模原の東南端に位置し、古くは秀吉の太閤検地で決まった相模の国の一角を占める。この一帯は、久しく人煙まればた相模とした原野だったという。明治22年の町村制施行で高座郡大野村大字上鶴間になった。私が越してき

た昭和30年代半ばは、森と畑が広がり家はまばらで漸く電気がついたばかりだった。

【のどかな田園から過密住宅地へ】
横浜の外国人へ相模川のうまい水を飲ませるため、明治20年に水道みちが整備されたのを機に、中和田から、草分け5人衆が、入植し、開墾の鎌を入れた。やがて昭和に入ると小田急小田原線と同江ノ島線が敷かれ、同4年に東林間都市駅（16年東林間駅へ改名）、13年に相模原駅（16年小田

急相模原駅へ改名）が開業。33年の首都圏整備法と交通の至便が相まって、東京・横浜のベッドタウンとして急速に発展し、人煙まればたここ一帯が人口4万余を抱える過密住宅地になったのである。序ながら、平成13年に上鶴間6丁目1万3千年前の人間居住の跡が発掘され、上深堀向（むこう）遺跡と命名された。

【今や名物のサマーわぁーニバル】
この間、高度経済成長の波に乗って児童館、各小中学校、さらに出張所（現まちづくりセンター）や公民館が建てられた。住民は問題意識が高く文化活動が盛んである。地区



東林小学校あたりの冬景色。西方に遥か大山を望む。(昭和32年)「東林間開発百年記念のあゆみ」より引用



東林間駅前の東林さくら通り (現在)

の主な行事は、東林間・出雲両神社の祭礼、ふるさと祭りと体育祭のほか、市長を名誉会長とし、26回を数える人出

15万人のサマーわぁーニバル。それにこの夏は、甲子園で東海大相模高校が優勝し、この快挙に地区が沸いた。

ご案内とお願い

「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせ

相模原市自治会連合会事務局

☎ 042-753-3419

E-mail: info@sagamihara-jichiren.jp

- 自治会報さがみはら編集 広報部会員
- 坂本 堯則 (相模台)
 - 澤塚 正史 (相模湖)
 - 石井 正彦 (麻溝)
 - 佐藤あつ子 (相武台)
 - 内田 匠一 (大沢)
 - 小河原祐二 (津久井)
 - 武田 邦雄 (清新)
 - 笹野 賢司 (星が丘)
 - 渡邊 重治 (大野北)
 - 中村 洋子 (大野南)
 - 嘉松 皓 (東林)